

二〇二二年一月一七日

条幅にみ言葉太く筆始	せいじ
どんど焚見らにごほうび煎餅菓子	なおこ
寒紅をひきてズームの初句会	よし子
鞘堂に透ける灯明大旦	小袖
百歳の声に張りある御慶かな	うつぎ
凧糸に力みなぎる初御空	せいじ
お年玉もらふ曾孫ら横並び	なつき
松明の揺らぎに祈る四方拝	素秀
竹爆せて木壺を返す大とんど	うつぎ
初写経一字一字に仏在す	うつぎ
初空は飛機ひとすじの真澄かな	素秀
どんど見て帰る子灰をほつぺたに	なおこ
妻眠る後部座席の破魔矢かな	豊実

ZOOM吟行句会みのる選

二〇二二年一月一七日